

新・三種の神器

三種の神器とは、もともと「歴代の天皇が皇位のしるしとして受け継いだという三つの宝物」のことですが、他にも「そろえていけば理想的であるとされる三種の品物」という意味もあり、1950年代半ば(昭和30)頃に言われた三種の神器は白黒テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機をさしていました。これらのものは、家具や自動車を含めて耐久消費財(原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの)と呼ばれていますが、平成16年全国消費実態調査()の結果から、耐久消費財の所有数量について見てみましょう。

()全国消費実態調査は、全国から選ばれた世帯を対象として、家計の収入・支出及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を5年ごとに総合的に調査しているものです。(次回調査は平成21年予定)



(表 1) 勤労者世帯(二人以上)における1000世帯当たりの所有数量

品目	平均	200万円未満(A)	200 ~ 300	300 ~ 400	400 ~ 500	500 ~ 600	600 ~ 800	800 ~ 1000	1000 ~ 1250	1250 ~ 1500	1500万円以上(B)	倍率(B)/(A)
冷蔵庫	1,203	1,048	1,096	1,115	1,130	1,136	1,185	1,234	1,316	1,387	1,486	1.41
洗濯機	1,071	1,017	1,019	1,036	1,038	1,043	1,062	1,091	1,123	1,136	1,193	1.17
ルームエアコン	2,276	1,153	1,379	1,568	1,799	1,972	2,245	2,574	2,879	3,188	3,649	3.16
自動車	1,533	824	1,092	1,300	1,380	1,424	1,517	1,654	1,790	1,988	2,082	2.52
カラーテレビ	2,057	1,430	1,581	1,684	1,815	1,879	2,048	2,216	2,402	2,578	2,804	1.96
パソコン	1,156	488	571	688	887	977	1,170	1,346	1,525	1,692	1,976	4.04

各品目とも年収額の高さと比例して、所有数量が多くなっています。また、年収200万円未満と1500万円以上で所有数量を比べてみると、冷蔵庫、洗濯機、カラーテレビは比較的差がないのに対し、ルームエアコン、自動車、パソコンは2倍以上の差がありました。



次に取得時期別のデータを見てみると、冷蔵庫、洗濯機、ルームエアコン、カラーテレビは5年以上前に取得している(所有期間5年以上)のに対し、自動車とパソコンは1年~5年以内に取得した(所有期間が1年~5年未満)世帯が多いことがわかります(これは全ての年収階層にあてはまる傾向でした)。自動車とパソコンに関しては、取得期間(買い換えもしくは二台目以上を取得するまでの期間)が短いと言えるようです。

(表 2) (1000世帯当たり平均台数)



取得時期	冷蔵庫	洗濯機	ルームエアコン	自動車	カラーテレビ	パソコン
過去1年以内	79	82	175	171	101	156
過去1年~5年以内	362	359	715	716	585	646
過去5年を超える時期	758	627	1383	646	1366	352

数年前からは、デジタルカメラ、DVDプレーヤー、薄型テレビがデジタル三種の神器とされているようですが、現代人にとっての新・三種の神器として「心の洗濯機、ストレスの掃除機、コンプレックスのフードプロセッサ」というのはどうでしょう？

(表1、2)とも平成16年全国消費実態調査「第2表 年間収入階級、取得時期別

1000世帯当たり主要耐久消費財の所有数量」から抜粋

上記のデータは総務省統計局ホームページから見るができます。

<http://www.stat.go.jp/data/zensho/2004/index.htm>



『手を合わせてください』『ハイッ』『いただきます!』

都道府県別学校給食実施状況(学校数)
【公立中学校】平成17年5月1日現在

公立中学校	総数	完全給食	
		学校数	百分比
1 北海道	700	668	95.4
2 青森県	176	141	80.1
3 岩手県	200	160	80.0
4 宮城県	226	207	91.6
5 秋田県	133	130	97.7
6 山形県	127	76	59.8
7 福島県	240	218	90.8
8 茨城県	234	234	100.0
9 栃木県	170	169	99.4
10 群馬県	176	174	98.9
11 埼玉県	425	423	99.5
12 千葉県	382	372	97.4
13 東京都	645	545	84.5
14 神奈川県	418	53	12.7
15 新潟県	245	243	99.2
16 富山県	83	83	100.0
17 石川県	106	96	90.6
18 福井県	79	74	93.7
19 山梨県	98	96	98.0
20 長野県	195	193	99.0
21 岐阜県	194	193	99.5
22 静岡県	268	255	95.1
23 愛知県	413	413	100.0
24 三重県	170	72	42.4
25 滋賀県	100	47	47.0
26 京都府	179	113	63.1
27 大阪府	464	47	10.1
28 兵庫県	358	151	42.2
29 奈良県	107	74	69.2
30 和歌山県	138	69	50.0
31 鳥取県	61	47	77.0
32 島根県	107	97	90.7
33 岡山県	167	156	93.4
34 広島県	251	153	61.0
35 山口県	175	158	90.3
36 徳島県	89	87	97.8
37 香川県	80	78	97.5
38 愛媛県	149	146	98.0
39 高知県	122	69	56.6
40 福岡県	349	202	57.9
41 佐賀県	93	71	76.3
42 長崎県	197	152	77.2
43 熊本県	185	184	99.5
44 大分県	143	138	96.5
45 宮崎県	141	138	97.9
46 鹿児島県	265	265	100.0
47 沖縄県	157	156	99.3
計	10,180	8,086	79.4

中学校には中等教育学校前期課程を含む。

以前の職場が小学校に隣接していました。

朝早くから、子供たちのにぎやかな声が聞こえてきて、授業中の先生の熱心な声や子供たちの挙手の声がほほえましく、また、音楽の時間の歌声には心癒されていました。中でも忘れられないのが、給食のよい香り。毎日10時半ぐらいから漂ってきて、完成に近づくにつれ変化していく過程から、献立を想像するのがささやかな楽しみでした。皆さんは給食にどんな思い出がありますか？

文部科学省では、学校給食の現状と課題を把握することを目的として、全ての小中学校等を対象に学校給食実施状況調査を実施しています（毎年）。左の表は、公立中学校の給食実施状況ですが、全ての学校で完全給食（給食内容がパン又は米飯、ミルク及びおかずの給食のこと）を実施しているのは4県、9割以上が25道県、また5割を下回るのが5府県でした。完全給食の実施率を地域別にみると、中部地方（都道府県番号15～23）での割合が高く、近畿地方（同24～30）は低くなっています。

給食の種類には、完全給食のほか、補食給食（おかずのみ）、ミルク給食（牛乳のみ）があります。熊本県の1校は補食給食を実施しています（小国町）。

今は、セレクト給食（主菜やデザートを2～3種類の中から選ぶ）やセルフ給食（おにぎりやハンバーガーを自分で完成させる）などのハイカラな工夫や、地産地消への取り組み、また、郷土料理・行事食などの積極的な取り入れなど給食の実態がたいへん充実しているようです。

「給食で その日の気分 左右され」
“給食命”だった小学生の頃を思い出します。



上記のデータは文部科学省 HP に紹介されています。

http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/main_b8.htm

高卒者 就職と進学の実況

今月、本県の「平成 19 年度 教育統計調査結果概要書」が刊行されました。この概要書には、「学校基本調査」及び「学校保健統計調査」の調査結果概要が掲載されています。

今回は、学校基本調査から本県の高等学校卒業後の進学・就職について見てみました。下の表は、全国と九州各県の就職率・県内就職率及び大学等進学率(以下、進学率という。)を高い順にまとめたものです。(注)就職率は、進学し、かつ就職した者も含む。

表九州各県の就職率・県内就職率及び大学等進学率(平成19年度)

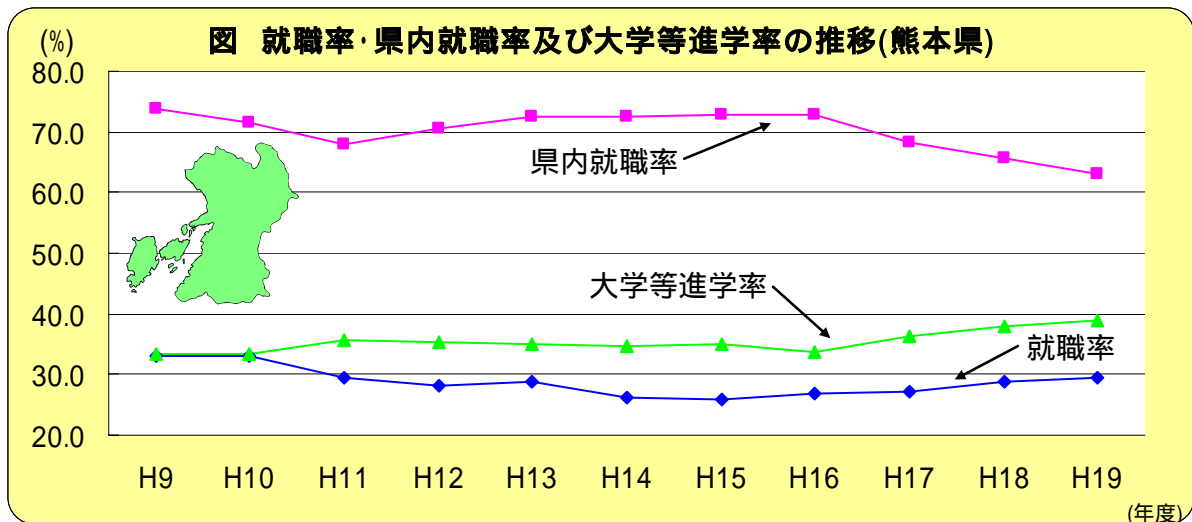
就職率(%)		県内就職率(%)		大学等進学率(%)	
全 国	18.5	全 国	...	全 国	51.2
佐 賀	32.8	福 岡	79.3	福 岡	50.5
宮 崎	32.5	大 分	74.0	大 分	45.9
長 崎	31.0	熊 本	63.2	佐 賀	42.1
熊 本	29.6	沖 縄	59.9	宮 崎	40.6
鹿 児 島	28.5	宮 崎	58.8	長 崎	40.1
大 分	27.6	佐 賀	55.5	鹿 児 島	39.2
福 岡	18.6	長 崎	54.2	熊 本	38.9
沖 縄	18.0	鹿 児 島	52.6	沖 縄	33.5

本県は、卒業生全体の約 3 割 (29.6%) が就職しています。その中の約 6 割 (63.2%) が県内で就職をしていることがわかり、九州で福岡、大分に次いで 3 番目の高さです。

一方、卒業生の約 4 割 (38.9%) が大学等に進学しており、九州全

体で下から 2 番目となっています。

次に、下の図で本県の就職率・県内就職率及び進学率の推移を見てください。平成 19 年度は、平成 9 年度と比較すると進学率が高く (平成 9 年度 33.4%)、就職率は低く (平成 9 年度 33.2%) となっています。就職率は、平成 15 年度を境に 4 年連続上昇していますが、県内就職率は平成 16 年度を境に 3 年連続して下降しており、過去 10 年で最も低くなっています。進学率は、平成 16 年度を境に 3 年連続上昇し、調査が始まって以来、過去最高となっています。



学校基本調査結果の一部を紹介しましたが、他にも初等中等機関などの調査結果があります。当課の HP「熊本のデータ」では、平成 13 年度分から掲載されていますのでご活用下さい。また、それ以前の報告書は当課の資料室で閲覧が可能ですのでご利用下さい。

文部科学省 URL: <http://www.mext.go.jp/>

「熊本のデータ」URL: <http://www.pref.kumamoto.jp/statistics/index.html>

日本へようこそ

テレビを見ていると、様々な国の出身の芸能人が活躍されています。日本には、どれくらいの外国人が在留されているのでしょうか？

表1は、都道府県別 外国人登録人員です（法務省「出入国管理統計 2006」より）。平成18年12月31日現在、全国には約208万人、熊本には8,926人の方が生活されており、東京や大阪、愛知などの上位5県に全体の約50%の方が生活されています。

(表2) 国籍別の外国人登録人員

	国籍	登録人数(人)	割合(%)
1	韓国・朝鮮	598,219	28.7
2	中国	560,741	26.9
3	ブラジル	312,979	15.0
4	フィリピン	193,488	9.3
5	ペルー	58,721	2.8
6	米国	51,321	2.5
7	タイ	39,618	1.9
8	ベトナム	32,485	1.6
9	インドネシア	24,858	1.2
10	インド	18,906	0.9
上位10か国の合計		1,891,336	90.7
総数		2,084,919	

次に、どこの国の在留者が多いのか見てみましょう。表2は、国籍別の外国人登録人員です。海を隔ててお隣の国、韓国や朝鮮出身の在留者が一番多く、全体の3割近くを占めます。また、上位10か国のうち7か国がアジアの国となっていることがわかります。

なお、外国人登録人員の国籍（出身地）数は、188か国（無国籍を除く。）となっているようで、どのような国々が詳しく知りたい方は、法務省のHP <http://www.moj.go.jp/TOUKEI/index.html> をご覧下さい。

(表1、2)とも法務省「出入国管理統計 2006」より抜粋

(表1) 都道府県別 外国人登録人員
(平成18年12月31日現在)

都道府県	登録人数	順位
全 国	2,084,919	
北海道	19,719	20
青森	4,787	43
岩手	6,636	37
宮城	16,017	22
秋田	4,503	44
山形	7,467	35
福島	12,488	27
茨城	52,460	11
栃木	32,729	17
群馬	45,766	14
埼玉	108,739	5
千代田	100,860	7
東京都	364,712	1
神奈川県	156,992	4
新潟	14,064	26
富山	14,908	24
石川	10,594	29
福井	14,217	25
山梨	16,954	21
長野	43,275	15
岐阜	54,616	9
静岡県	97,992	8
愛知県	208,514	3
三重	49,593	12
滋賀	30,451	18
京都	54,213	10
大阪府	212,528	2
兵庫県	102,188	6
奈良	11,557	28
和歌山	6,606	38
鳥取	4,853	42
島根	6,088	39
岡山	21,346	19
広島	38,994	16
山口	15,165	23
徳島	5,354	41
香川	8,219	34
愛媛	9,344	30
高知	3,591	47
福岡	47,143	13
佐賀	4,340	45
長崎	7,367	36
熊本	8,926	32
大分	9,317	31
宮崎	4,323	46
鹿児島	5,701	40
沖縄	8,703	33

ランキングがあったらいいな…。 ～社会・人口統計体系の各報告書から～

「社会・人口統計体系」は、昭和51年度から総務省統計局がデータ収集を開始したもので、国民生活の様々な分野について、都道府県・市区町村別の各種統計データを体系的に整備したものです。

その報告書として、「社会生活統計指標 都道府県の指標」、「統計でみる都道府県のすがた」、「統計でみる市区町村のすがた」があり、後者2つは各指標について順位付けされ、都道府県や市区町村の位置付けをみる非常に便利で使いやすい報告書です。

下表は、「統計でみる都道府県のすがた - 2008」(H20. 2月公表)から熊本県の順位が、「上位」か「下位」にある項目を一部ピックアップしたものです。

(表)

項目	年度	指標値	単位	全国順位
常設映画館数(人口100万人当たり)	2005	30.9	館	2
医療施設に従事する看護師・准看護師数(人口10万人当たり)	2004	1,240.4	人	2
火災死傷者数(人口10万人当たり)	2006	6.3	人	2 (少ない方から)
火災死傷者数(建物火災100件当たり)	2006	23.8	人	2 (少ない方から)
被服及び履物費割合(対消費支出)[全世帯]	2006	5.2	%	3
一般病院病床数(人口10万人当たり)	2005	1,532.7	床	4
パソコン所有数量(千世帯当たり)[全世帯]	2004	756	台	43
一般病院常勤医師数(100病床当たり)	2005	7.6	人	43
高等学校新規卒業者初任給(月額)[女]	2006	133.7	千円	44

(統計でみる都道府県のすがた - 2008より)

この中で、興味深いのは、「医療施設に従事する看護師・准看護師数(人口10万人当たり)」と「一般病院病床数(10万人当たり)」が2位、「一般病院常勤医師数(100病床当たり)」が43位となっていることです。(ただ、年度の違いはありますが。)

医療関係だけでも、まだまだ様々なランキングが掲載されています。

なお、「統計でみる市区町村のすがた」は、平成20年6月公表予定です。

「社会・人口統計体系」は、各種施策及び地域分析の基礎資料として提供することを目的として整備されているものであり、地域別統計のデータベースとして各方面での利用が可能と思われます。

今回は、「ランキングが掲載されている統計書がありますか？」との問い合わせもあり、3冊の報告書をご紹介しました。このような報告書があることを知っておくだけでもよいのではないのでしょうか。

この報告書は、総務省統計局 HP より閲覧することができます。また、統計調査課の統計資料室にも保管しており、貸出もできますのでご活用いただければ幸いです。

総務省統計局 HP : <http://www.stat.go.jp/>



統計の窓口

平成20年4月1日から政府統計の総合窓口(以下 **e-Stat** という。)が本格運用開始されました。今まで各府省のホームページに掲載されていた各種統計情報が、e-Stat からご利用いただけるようになりました。

ここでは、行政機関しか閲覧できなかった統計データを **e-Stat** が本格運用開始されたことにより、閲覧・ダウンロードできるようになった例を1つ紹介したいと思います。

例) 国勢調査結果の場合

- 旧) 平成12年～平成17年分の結果を掲載(総務省統計局HPより)。
- 新) 昭和55年～平成17年分の結果を掲載(**e-Stat**より)。

国勢調査の場合、昭和55年からの統計データはstat-navi等の行政機関のみアクセスできるサイトからしか閲覧できませんでした。しかし、**e-Stat**では、誰でも閲覧することが可能となりました。

このように、頻繁に活用される国勢調査結果で、昭和55年分から掲載されたのは非常に有益なことです。統計法が改正され、「行政のための統計」から「社会の情報基盤としての統計」へということが実現された例と言えるでしょう。

国勢調査結果以外にも、事業所・企業統計調査や全国消費実態調査など、多くの総務省統計局主管の統計調査で過去数調査分のデータが新たに掲載されています。

誰でも閲覧できるようになり便利にはなりましたが、サイトの存在自体を知らないことには意味がありません。ほんの一部の紹介になりましたが、過去の様々な統計データが閲覧できるようになったことを多くの方に知っていただき、ご利用いただければ幸いです。今以上に幅広い分野で統計が利用されることを願います。

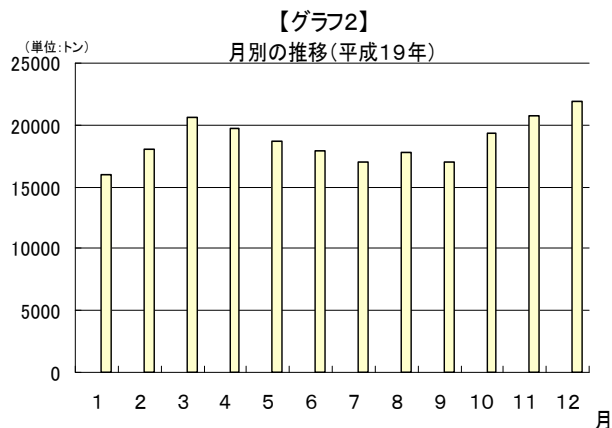
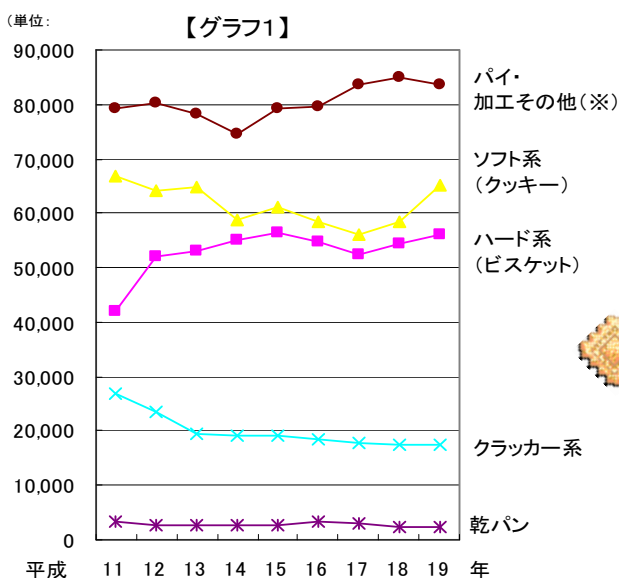
e-Stat 政府統計の総合窓口 (URL: <http://www.e-stat.go.jp>)

The screenshot shows the e-Stat search interface. At the top, there are navigation links for 'TOP', 'サイトマップ', and 'お問い合わせ'. Below the search bar, there are two radio buttons: '統計表' (Statistics Table) and 'データベース' (Database), with the latter being selected and circled in red. A search box contains the text 'キーワードで探す(ひくくずリスト)'. Below the search box, there are buttons for '検索', 'リセット', and '検索オプション'. A note indicates that clicking on 'Excel', 'CSV', 'PDF', or 'DB' buttons will display the data in that format. The search results section shows a list of census data items, including '平成17年国勢調査【537】', '平成17年国勢調査特別集計【16】', '平成12年国勢調査【826】', '平成7年国勢調査【753】', '平成2年国勢調査【787】', '昭和60年国勢調査【944】', and '昭和55年国勢調査【319】'. Each item has a '作成機関' button to its right.

小麦粉の甘い誘惑

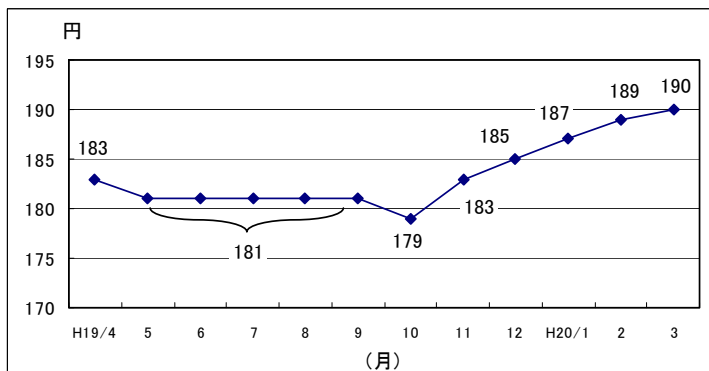
クッキーはお好きですか？（社）全国ビスケット協会では、ビスケット（クッキー含む）は栄養バランスがよくエネルギー量も高いことから、単なるお菓子としてだけではなく、朝食や夜食また携行食や非常食にも活用することを提唱しています。

農林水産省の「米麦加工食品生産動態等調査」から、ビスケットの生産量を見てみましょう。下の【グラフ1】は種類ごとの年別推移を、また【グラフ2】は平成19年の総生産量を月別に表したものです。



※パイ・加工品その他
 ……表面にチョコレートや砂糖などを塗ったもの、クリームやジャムをはさんだもの、またブリッツェルも含まれる。

【グラフ1】から、パイ・加工品その他、ソフト系（クッキー）とハード系（ビスケット）が増加しているのに対し、クラッカー系が減少傾向にあるのがわかります。また、【グラフ2】をみると、3月と12月の生産量が多くなっています。クリスマスやホワイトデーといったイベントが大きく関係しているのかもしれませんが。



(データは農林水産省「小麦粉の取引価格平成20年3月分」から)

左のグラフは過去1年間の家庭用薄力粉の小売価格（1kg）の推移を表したものです。このところ、バイオエタノールの需要増に伴うトウモロコシへの転作やオーストラリアの干ばつによる生産の減少、また食事の欧米化による需要の増加などの影響で小麦粉が値上がりしており、今後もこの状況は続くとみられています。

グリム童話「ヘンゼルとグレーテル」には『お菓子の家』が出てきますが、このご時世だと魔女使いも“建築コストアップ”に頭を抱えることになりそうです。

(参考)



農林水産省 <http://www.syokuryo.maff.go.jp/kasyoku/index.html>
 (社) 全国ビスケット協会 <http://www.biscuit.or.jp/top.html>

コンビニで見る統計

コンビニエンスストアとは、飲食料品を扱いセルフサービス方式で、売場面積 30 m²以上 250 m²未満、営業時間 14 時間以上と定義されています。(経済産業省、日本標準産業分類より)

熊本県のコンビニ数は 6 8 4 店で(経済産業省、商業統計 H16.6.1 調査) 現在の熊本における主要コンビニの順位は右表のとおりです。(コンビニ各社HPより H20.5 調査)

全国ではセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートの順ですが、熊本ではファミリーマートがローソンを押さえ 2 位を獲得しています。

順位	会社名	店舗数
1 位	セブンイレブン	182
2 位	ファミリーマート	95
3 位	ローソン	91
4 位	エブリワン、ココストア	76
5 位	デイリーヤマザキ	47
6 位	サークルKサンクス	21
7 位	ポプラ	17
8 位	am/pm	12
	計	541

次に、各地域(地域振興局別)のコンビニ分布状況を見てみましょう。

分布状況で一番高いのは熊本市で、次に菊池、宇城、八代と続いています。

ここで、少し視点を変えて分析してみましょう。

10,000 人当たりの店舗数の条件で分析をしてみると、ちょっと変わった結果が出てきます。

人口比率で行くと、熊本市を抜いて宇城が 1 位になります。



	宇城	熊本市	菊池	八代	上益城	阿蘇	鹿本	球磨	玉名	芦北	天草
10,000 人	3.50	3.48	3.25	2.98	2.93	2.74	2.63	2.56	2.28	1.68	1.43

統計とは、複数の視点で分析することによりたくさんの答えが見えてきます。

コンビニエンスストアの会社ごとの各地域の分布状況を調べると会社ごとの店舗展開の方針が見えてくるかもしれません。

統計調査課では、人口、商業、経済等様々なデータの収集、分析を行っています。必要なデータがあれば熊本県のホームページや統計調査課の資料等を見ることが出来ますので、ぜひ一度ご覧になってください。

「5年前と比べて…(就業状況)」

7月3日に「平成19年就業構造基本調査」の結果が総務省統計局から公表されました。この調査では、国民の就業・不就業の状態が分かります。

下の表は、熊本県の平成19年と平成14年調査の雇用形態別有業者数です。前回調査と比較して、総数では「正規職員・従業員」、「アルバイト」が減少し、「パート」「派遣社員」「契約社員・嘱託」が増加となっています。



熊本県の有業者総数は前回調査からほとんど変わっていません。また、15歳以上人口は微減なので有業率が増加していることがわかります。

「派遣社員」について見てみると、前回調査から総数、男女ともに大幅に増加しており、女性より男性の方が増加率は大きくなっています。

「契約社員・嘱託」についても総数、男女とも増加しています。

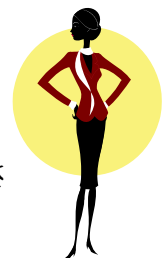
「役員」「正規職員・従業員」が減少し、「派遣社員」「契約社員・嘱託」が増加しているという調査結果から、5年間の雇用の変化が写し出されています。

表) 熊本県の雇用形態別有業者数 (平成19年・平成14年)

	総数			男			女		
	H19	H14	増減率	H19	H14	増減率	H19	H14	増減率
15歳以上人口	1,570,499	1,579,670	△ 0.6	727,212	734,157	△ 0.9	843,287	845,513	△ 0.3
有業者	903,100	901,800	0.1	487,600	491,600	△ 0.8	415,600	410,200	1.3
自営業主	117,400	122,200	△ 3.9	91,300	93,800	△ 2.7	26,100	28,400	△ 8.1
家族従業者	63,900	74,500	△ 14.2	15,600	16,400	△ 4.9	48,300	58,100	△ 16.9
雇用者	719,300	704,200	2.1	379,300	380,800	△ 0.4	340,100	323,400	5.2
役員	43,700	46,200	△ 5.4	31,800	33,900	△ 6.2	11,900	12,300	△ 3.3
正規職員・従業員	441,000	449,800	△ 2.0	278,500	292,400	△ 4.8	162,500	157,400	3.2
パート	114,800	106,500	7.8	8,900	7,400	20.3	106,000	99,100	7.0
アルバイト	44,700	48,400	△ 7.6	23,300	24,000	△ 2.9	21,400	24,400	△ 12.3
派遣社員	15,400	6,900	123.2	7,200	2,900	148.3	8,200	4,000	105.0
契約社員・嘱託	42,900	32,600	31.6	21,500	14,400	49.3	21,400	18,200	17.6
その他	16,000	13,600	17.6	7,900	5,800	36.2	8,200	7,800	5.1

資料：就業構造基本調査（総務省統計局）

昨年、日本テレビ系列で「ハケンの品格」という派遣社員を主人公としたドラマがありました。「派遣労働者が増加している」と近年言われていましたが、この就業構造基本調査の結果からでもわかるように、まさに現在の日本社会における雇用情勢を見ることのできる統計調査と言えます。



就業構造基本調査の結果は総務省統計局HPより閲覧できますのでご利用下さい。また、「熊本のデータ」にも掲載していますので併せてご利用下さい。

URL：総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/>

「熊本のデータ」 <http://www.pref.kumamoto.jp/statistics/index.html>

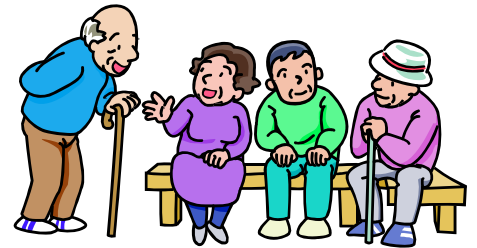
長寿を祝おう！！

みなさん、9月15日は「敬老の日」です。日本の国民の祝日の1つで、国民の祝日に関する法律(祝日法)では、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨としています。

熊本県における老年人口(65歳以上)は、451,711人(平成19年10月1日現在)で総人口に占める割合は24.7%となっています。熊本県の人口の約4人に1人は65歳以上ということになります。(表1)

(表1) 熊本県の老年人口及び老年人口割合の推移 ※各年10月1日現在。

	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
老年人口	143,664	160,044	182,859	210,051	241,855
割合	8.1	9.4	10.7	11.7	13.2
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成19年
老年人口	284,017	340,924	396,020	437,244	451,711
割合	15.4	18.3	21.3	23.7	24.7



次に世帯について見てみると、平成17年の65歳以上親族のいる一般世帯数は、総世帯の約4割を占めており、高齢単身者世帯数は20年前に比べ、約2.5倍増加していることが分かります。また、平成17年の一般高齢者の単身率(注1)は、21.7%であり年々増加しています。(表2)

(表2) 熊本県の高齢者関係世帯数の推移

※各年10月1日現在。

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
総世帯数	553,963	578,862	618,211	647,216	667,533
65歳以上の高齢単身者世帯数	23,909	31,404	40,453	51,311	61,234
総世帯数に対する割合(%)	4.3	5.4	6.5	7.9	9.2
65歳以上親族のいる一般世帯数	173,230	196,537	228,940	259,383	281,541
総世帯数に対する割合(%)	31.3	34.0	37.0	40.1	42.2

(注1) 「一般高齢者の単身率」 = 「65歳以上の高齢単身者世帯数」 ÷ 「65歳以上親族のいる一般世帯数」で算出した。

※65歳以上のいわゆる老年人口を「高齢者」とした。

※表1・2の資料：「国勢調査」総務省統計局

9月15日「敬老の日」に、日頃の感謝や元気に長生きしてもらうことの意を込めて、1日一緒に過ごしたり、贈り物をしてみてはいかがでしょうか？

☆プチ情報☆

2001年の祝日法改正により2003年からは9月第3月曜日となりました。前後を祝日に挟まれる平日は国民の休日とみなされるため、敬老の日と続く秋分の日が、9月20日と9月22日、もしくは9月21日と9月23日になる場合、敬老の日前日の日曜日から4連休、週休2日制であれば5連休となります。そのため、「第2のゴールデンウィーク」または、敬老の日が関係するので「シルバーウィーク」が誕生するとも言われています。ちなみに、今後祝日法が改正されない限り、このケースが最初に発生するのは2009年です。

<参考> 統計調査課HP「熊本のデータ」：<http://www.pref.kumamoto.jp/statistics/index.html>

総務省統計局HP：<http://www.stat.go.jp/index.htm>

政府統計の総合窓口「e-stat」：<http://www.e-stat.go.jp>